



### 正しい敬語

#### 言葉のあとをまよよく考えて

あいまいな言い方をしたために、こちらの真意が相手に通じず、誤解を招くという事は日常よくあります。

「Aさんはちよつとずばらなところがあるけれど、親切な人よ」と好意的に言うつもりで、つい、「Aさんは親切な人よ。だけど、ちよつとずばらなところもあるわね」と言ってしまうことがあります。この話がまわりまわって当人のAさんの

耳に入るときには「あの人は、あなたのことをずばらな人だと言っていたわよ」ということになりかねません。言葉のあとをまよよく考えて話をすることが大切といえます。

セールの会話でも、「これはたいへん丈夫ですが、お値段が張ります」というよりは、「これはお値段が張りますが、たいへん丈夫です」というほうが、上手なすすめ方だとされています。先に

### 暖房温度は19度以下に

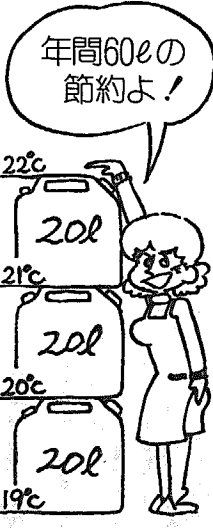
省エネ、省エネ、省エネ

ことしの夏は「冷房温度はおおむね二十八度」を目標に、石油の消費節減に協力いただきましたが、この冬の「省エネ目標」は「暖房温度は十九度以下におさえよう」です。

暖房温度を一度下げることによって節約できる灯油は、一世帯あたり年間約二十リットルと試算されています。ですから、仮に三度下げるとしますと年間約六十リットルもの節約となり、家計の上でもそれなりの出費をおさえることができるというわけです。

家庭で使ういろいろなエネルギーの中では、平均して暖房用のものが最も多いといわれます。国全体の省エネルギーを進めるうえで、わたしたち一人ひとりの「省エネ暖房」への協力がぜひとも必要です。

ただし、しっかり注意を与えたりする場合は、まず長所をほめておいてからしかるという方法もあるでしょう。また、誤解を招くといえは、こんな例もあります。「こんどの金曜日に伺わせていただきます」と月曜日に会ったときに相手は言うので、その週の金曜日を心に付けておくと「来週の金曜日」のつもりで言った、などという場合があります。単純な「誤解」の例ですが、話の前後のいきさつからこういうことも起りがちなのです。気をつけたいものです。



心配ごと相談の利用を、毎週土曜午後1時から役場二階

## 蓮方団地が二連覇 婦人バレーボール熱戦の幕閉じる

十月十一日から始まった婦人バレーボール選手権大会は、十二チームの参加で、二ブロックの六チームでナイターリーグ戦を展開、各チームとも日ごろの練習成果を存分に発揮し、好プレー、迷走プレー、珍プレーの続出、決勝トーナメントで接戦の末、蓮方団地チームが木場チームを降し、二年連続優勝を果しました。

今大会は試合が夜間行われたため、家族連れの応援にぎわい、お父さんや子どもの声援に、お母さんもハッスル、十月二十日の決勝トーナメント戦をもって、合計三十四試合の熱戦にピリオドが打たれました。

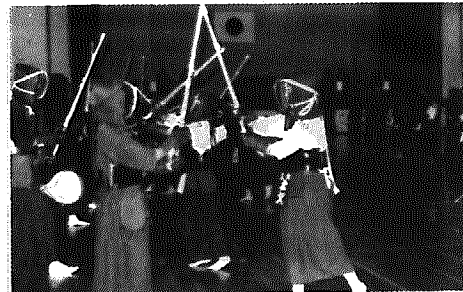
結果は次のとおりです。

優勝 蓮方団地チーム  
準優勝 木場チーム  
第三位 柳作チーム  
敢闘賞 興野三区チーム

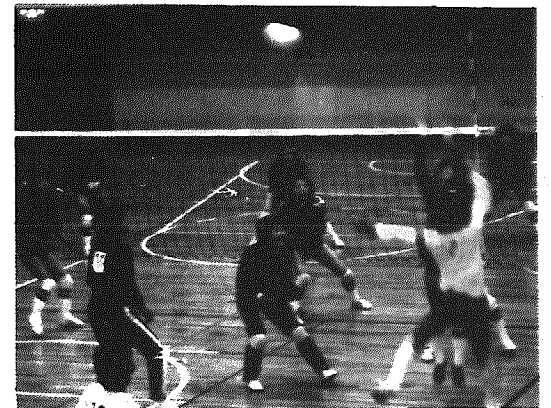
## 第四回剣道大会 竹刀の音が館内にビシビシ

十月七日(日)、第四回黒埼町剣道大会が、総勢百余人の参加者を得て総合体育館で盛大に繰りひろげられました。

毎年恒例となったこの大会は、小学生、中学生の個人戦の試合を中心に、剣道の型及び、居合いの模範演技並びに、昇級審査などが行われ、剣道愛好者のパラエティにとんだ大会が展開されました。



お面・胴・小手と元気な声が館内に



スパイク決まるか? (手旗が木場 向うが山田チーム)

## 黒鳥分館が圧勝 駅伝マラソン

文化祭事業の一環として町内一周駅伝大会が秋晴れの下で行われ、黒鳥分館が、他を圧倒、かるく三連覇を成しとげました。

オープン参加3チーム公民館8チームの計11チームで競われ、中学校前をスタートして、二二・一kmを一時間三十分で町内を一周するもので、途中北場中継点で時間調整して一斉に再スタートの方式、ゴール地点では走り終えた選手や応援団が迎える中で、先着順のタイムで競われ、結果は次のとおり

### 交通死亡事故 「ゼロ」更新中

#### 八九〇日

黒埼町では「交通死亡事故ゼロ一〇〇〇日運動」を実施中ですが、昭和五十四年十一月九日現在で、町内における交通死亡事故「ゼロ」は、実に八九〇日で過去十数年来にない記録を更新中です。

県内では九月下旬以降死亡事故が続発し、毎日のように死者が出

### 違法駐車で 事故多発

最近、大野町内において駐車車両に起因するたびに出発事故、自動車と自動車の接触事故等が多発しています。

また交通渋滞の原因にもなりま

すので、お互いに交通ルールを守り事故に合わないよう十分注意して下さい。

最近の交通死亡事故の特徴は、  
○道路横断中の歩行者が車にはねられるもの  
○車対車の正面衝突  
○道路外に転落するもの  
○依然として酒酔い運転によるもの等が目立っています。

## 文化祭の短歌

希望が丘松杉植えて水汲むに観音念じ河津に挑む 柏 直樹地  
 姥婆の花夜半の嵐もわかぬ身のせめても今日は見事開かん 青木 留吉  
 亡き兄の昭和万葉集ひもときて終戦当時をくり返し読む 松沢 虎男  
 軒の柿今年もたわに色づくをいくつかもきて旅に出たり 小出美喜子  
 口答えしついでたる吾子のこしきりに思いつ夕食作る 阿部 淳子  
 この菊を都念の妹に送らしたし近況と調理メモを書き添え 風間 法子  
 老ゆるとは死よりもこわいといふ言葉かみしめにつつ狭り酒酌む 酒井 庄平  
 蒲原の野を跨ぎたる夕虹のうするなへに残照の満つ 平松清次郎  
 目的を異にするらし娘と我はバスにゆられて黙して並べる 西海たみ子  
 紅葉の山を背にしてバンガロー群る湖畔の写生にかかると 泉井 ヨ子  
 やわらかき陽射しを浴びて温まれる歌碑をめぐりてあまか飛ぶ一成海 静

心配ごと相談の利用を、毎週土曜午後1時から役場二階